Creative Enzymes®

オーロラキナーゼA 活性型ヒト、再組換え

Cat. No. NATE-0087

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	オーロラAキナーゼ（セリン/スレオニン-プロテインキナーゼ6とも呼ばれる）は、ヒトではAURKA遺伝子によってコードされる酵素です。オーロラAは、有糸分裂セリン/スレオニンキナーゼのファミリーの一員です。オーロラAは、有糸分裂および減数分裂中の重要なプロセスに関与しており、その適切な機能は健康な細胞□殖に不可欠です。オーロラAは、1つ以上のリン酸化によって活性化され、細胞周期のG2期からM期への移行中にその活性がピークに達します。
用途	酵素動力学の研究、阻害剤のスクリーニング、および選□性プロファイリングに役立ちます。
別名	オーロラキナーゼA; オーロラAキナーゼ; セリン/スレオニン-プロテインキナーゼ6; AURKA; AIK; ARK1; AURA; AURORA2; BTAK; PPP1R47; STK15; STK6; STK7

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染したSf9細胞
形態	水溶液
分子量	mol wt 50 kDa
純度	> 90% (SDS-PAGE)
活性	約17,000ユニット/mgタンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 7.4および30°Cで1分あたり1 pmolのSer/Thr 1ペプチド基質をリン酸化する酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

包装	ブラッドフォード法による最小50 ngのタンパク質/バイアル